

## 卓 話

平成 26 年 4 月 22 日

### 『みんなの森 ぎふメディアコスモスの紹介』

岐阜市教育委員会 中島克己様

#### ■■■ (仮称) 岐阜市立中央図書館について ■■■

##### (1) みんなの森 ぎふメディアコスモスとは

○名称：公募により決定（平成24年1月）

全国868名から、1,386点の応募

⇒「知と文化、絆」を育む情報の拠点として、世界、

宇宙（コスモス）までの広がりを目指す

施設利用者は市民が主人公である意味を込めて、

「みんな」という言葉を加えた。

○建物の特徴：湾曲した木造屋根 → 借景の山並みと調和させた外観デザイン

2階図書館部分 → 屋根のないオープンな空間

自然採光・自然換気を取り入れる具ロープの活用

渦巻き状の書架 など

○設計者：伊東豊雄氏 ⇒ 木のぬくもりや、人と人との交流などを取り入れた意匠

○所在地：岐阜市司町（岐阜大学医学部等跡地 約3ha）

○建築面積：約7,300㎡ 延床面積：15,225㎡

○スケジュール：昨年7月に建設工事着工、今年の12月末に完成、来年の夏頃オープンを目指している。

○主な機能：**知の拠点**（仮称）中央図書館（→2階フロア全体）

**絆の拠点**（仮称）市民活動交流センター

**文化の拠点** 展示ギャラリー、多目的ホール等

⇒3つの機能を併せ持つ複合施設

○「みんなの森 ぎふメディアコスモス」のロゴマーク発表（4月9日新聞に掲載）



##### (2) 図書館とはどういうものか

<一般的なイメージ>

○本をタダで貸してくれる（読める）ところ

○学生が勉強するところ。読書好きが集まる

⇒それだけでなく

「本」を介して、自ら学び、成長し、人と人との交流を通じて互いに高めあうための施設

○現在の岐阜市立図書館で、本館、分館、5図書室で、以下のような事業を進めている。

・子どもの読書活動推進・・・子ども向けのおはなし会、学校との連携事業

・講座・講演会を定期的で開催・・・文学講座、講演会、ボランティア交流会、読み聞かせ講座

- ・図書館からの情報発信・・・おすすめ図書の紹介、展示イベント、パンフレット等の作成
- ・レファレンスによる課題解決・・・資料調査、情報提供など、調査研究の支援

○こんなこともしています

◆ビジネス支援

- ・ビジネス支援セミナー、ビジネス相談会の開催
  - ・関連図書の紹介、情報リストの作成 など
- ⇒「講演を頼まれてしまった」「部下とのコミュニケーションを図りたい」など、仕事の中で困ったことや疑問解決へのヒントや手助けになる図書を紹介、提供

### (3) 新しい図書館への期待

○現在の岐阜市立図書館

- ・昭和33年に会館、施設の老朽化、駐車場がないなど、課題を抱えている。

○（仮称）中央図書館の計画規模

- ・延床面積：9,400㎡
- ・蔵書数：約90万冊（開館当初は、約30万冊）

※十分な駐車スペースを確保、ユニバーサルデザインを採用した来館者にやさしい施設

○新しい図書館の魅力

◆魅力ある図書館⇒「情報を求め、人が集う『知の拠点』」

- ・図書資料を20万冊から90万冊へ（開館時約30万冊）

◆「自由に学び、ゆっくりと寛ぐことができる『滞在型図書館』」

- ・座席数 910席（学習席、閲覧席、テラス席、グループ学習室 等）

◆「市民の課題を解決していくための情報発信をする『問題解決型図書館』」

- ・「読みたい本が読める、調べたいことが調べられる」

⇒必要な資料を的確かつスピーディに提供

- ・レファレンス力の強化 → 経験豊富な司書の配置
- ・資料検索、資料提供の迅速化 → ICタグの導入など

◆にぎわいを創出する様々な事業を開催

- ・年間を通じた各種イベント開催 ⇒さらなる集客(メディアコスモスが行なう文化的イベントほか)
- ・世界的に著名な伊東氏の作品 ⇒岐阜市のランドマーク的存在

◆情報通信機器の活用、マルチメディアに対応

⇒図書と電子媒体を融合させたハイブリッドライブラリー

- ・インターネット席20席、デジタル資料などの導入を予定
- ・各種データベース（官報、新聞各紙、経済情報など）を提供

○来年に夏に開館する「みんなの森 ぎふメディアコスモス」にぜひお越しください。